

新型コロナ感染予防 対策マニュアル完成

新型コロナウィルスが国内で猛威をふるい始めて半年が経過したが、今後もウィルスとの長い闘いが続くことが予想されている。社員を感染から守るため、企業には引き続き対応が求められる中で、事業者の強い味方となるマニュアルがこのほど完成した。

ヘルスケアネットワーク（OCHIS）は全ト協の依頼を受け、「トラック運送事業者のための新

社員を守る「強い味方」に

今回のマニュアル役割について、明確な運行管理者／ドライバーの大きな特長は、第1に示されている点で、2部でそれぞれの立場だ。経営者／総務・現場からの果たすべき人事・衛生管理者／



マニュアルの表紙

OCHIS

新型コロナウィルス感染予防対策マニュアル」を制作した。全ト協が6月に策定した「トラックにおける新型コロナウィルス感染予防対策ガイドライン」第2版をベースに、職場における感染症対策がラストで分かりやすく解説されている。同マニュアルの活用方法や事業者へのアドバイスなどについて、OCHISの作本貞子副理事長に話を聞いた。

かを見直す。また、第3部で示すきつかけに、また、第3部で示されるように、新型コロナウイルスの本副理事長やほかの感染症対策は話す。経営者だけが熱心に取り組んでも完全な感染対策にはならない。責任

ムページからパスワードを入力しなくてもダウンロードできるので、ぜひ社内で活用いただきたい」と、マニュアル内では、新型コロナウイルスに感染すると重症化する恐れのあるハイリスク者についても紹介している。作本副理事長が特に警鐘を鳴らすのは喫煙者だ。「OCHISで過去に調査したデータでは、男性ドライバーの喫煙率は57%と、成人男性の全国平均に比べて約2倍となっている。また、女性ドライバーの喫煙率も高い。新型コロナウイルスに感染しやすい因子として喫煙が挙げられている。喫煙行為は口に手を持っていくので、感染症にかかるリスクが高くなる。注意である上に、喫

煙ルームでは密集する機会が増えてしまう」と指摘する。今年2月頃には各地でマスクが不足し、大混乱となったが、企業では自然災害への備えに加え、消毒薬や感染防護服など感染症対策の備蓄品も今一度確認しておく必要がある。OCHISでは感染症予防ポスターをリリースしており、マニュアルと合わせた活用も期待される。最後に、作本副理事長は「これだけ新型コロナウイルスの感染拡大が報道されているにも、手洗いを疎かにしている企業がある。今後は、社員の健康管理の中に感染症対策を加えていただき、経営者の方は適切な指示を出せるようマニュアルを生かしてほしい」と話した。

（木村麻理奈）